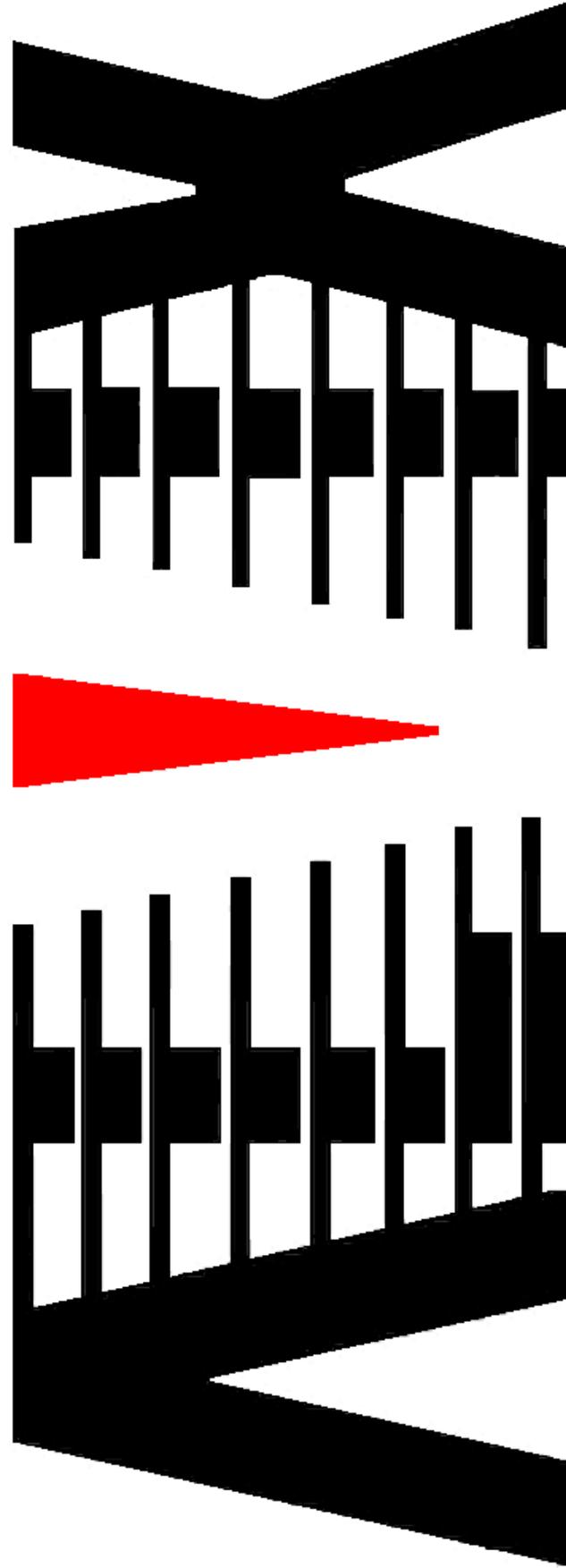


“アルビクス” オンデマンド監視システム I/ODシリーズ

取扱説明書

Rev0.0.1



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

	ページ
1. 主な機能と特徴.....	3
2. 仕様.....	4
3. 各部の名称と機能.....	6
3 - 1 INPUT ユニット.....	6
3 - 2 OUTPUT ユニット.....	7
3 - 3 IOD-3U.....	8
3 - 4 IOD-2U.....	10
4. 接続方法.....	12
5. 設定について.....	13
5 - 1 子画面設定.....	13
5 - 1 - 1 表示 ON/OFF.....	13
5 - 1 - 2 サイズ.....	14
5 - 1 - 3 表示位置.....	15
5 - 1 - 4 枠色・ブリンク.....	16
5 - 1 - 5 BASE 色・ブリンク.....	17
5 - 2 コメントウィンドウ設定.....	18
5 - 3 レイアウト設定.....	22
6. IODシステムリモート操作方法.....	23

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたりしてはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇ビデオオンデマンドサービスに接続し、
1画面に複数のコンテンツを分割表示します。
- ◇再生中コンテンツ映像の
(ブラック、フリーズ)・音声(無音)エラー検知し、
その状態をTrap通知します。(内部連動してタリー表示も可能です)
再生環境はPC環境の為、エンドユーザー環境でのエラー検知が可能です。
- ◇UNITの組み合わせにより
10~70CHのビデオオンデマンド再生が可能です。
出力は2系統あります。
- ◇コメント表示が可能です。
コメント文字を自由に表示することが可能です。
- ◇外部制御はLANインターフェイスを装備し、TCPで制御可能です。

2. 仕様

<INPUTユニット>

INPUTユニット		
入力信号	入力ストリーム数	20ストリーム
	接栓	RJ-45モジュラコネクタ
出力信号	信号数	1系統
	接栓	BNCコネクタ
	信号形式	3G-SDI
内部通信信号	信号数	1系統
	接栓	RJ-45モジュラコネクタ

<OUT/CNTユニット>

OUT/CNTユニット		
入力信号	入力ストリーム数	10ストリーム
	接栓	RJ-45モジュラコネクタ
出力信号	DVI 信号数	2系統
	接栓	DVIコネクタ
	SDI 信号数	2系統 2系統 スルーアウト出力
	接栓	BNCコネクタ
外部通知信号	通信仕様	100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
	接栓	RJ-45モジュラコネクタ
エラー検知	検知項目	フリーズ ブラック 音声無音
内部通信信号	信号数	3系統
	接栓	RJ-45モジュラコネクタ

<筐体>

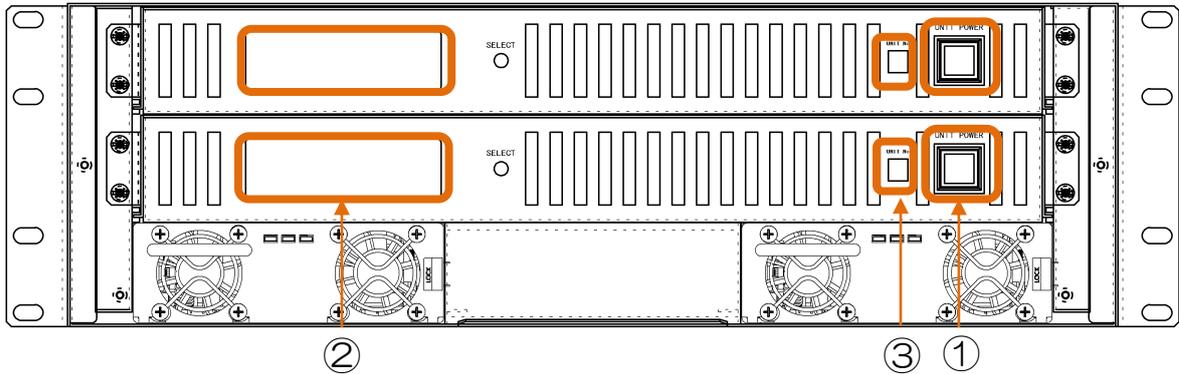
筐体：IOD-3U	
外形寸法	W430×H133×D610mm 3ラックマウントサイズ（突起含まず）
ユニット実装数	2
重 量	約27kg
消費電力／皮相電力	約630W/653VA（INPUTユニット2台実装時）
使用周囲温度	5～40℃

筐体：IOD-2U	
外形寸法	W430×H88×D610mm 2ラックマウントサイズ（突起含まず）
ユニット実装数	1
重 量	約18kg
消費電力／皮相電力	約340W/358VA（OUT/CNTユニット実装時）
使用周囲温度	5～40℃

3. 各部の名称と機能

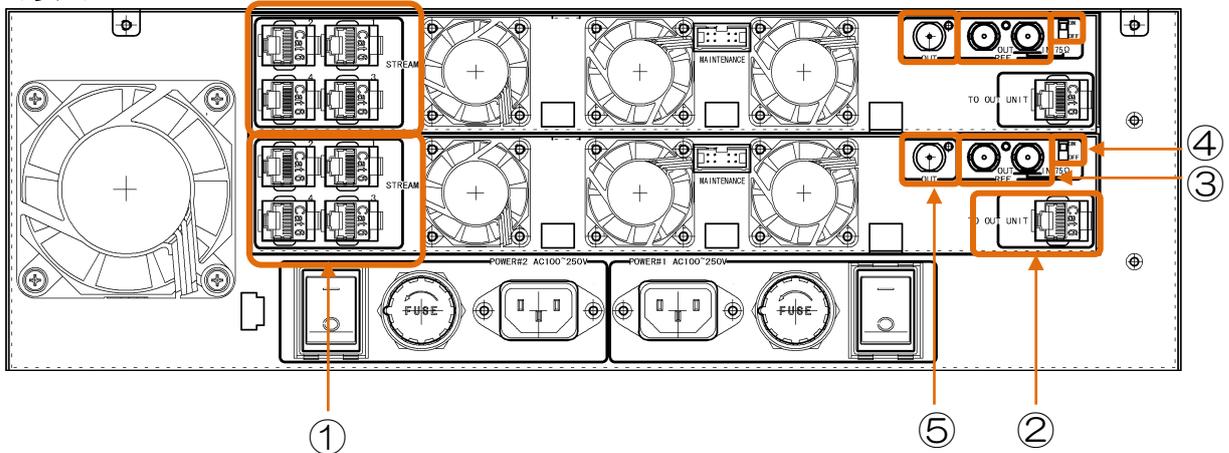
3-1 INPUT ユニット

<フロント>



- ① ユニット電源スイッチ
各ユニットの電源スイッチです。
ユニットに電源が入ると緑点灯します。
- ② ユニットVFD
VFDにて各ユニットの情報表示を行います。
- ③ ユニット番号スイッチ
INPUTユニットのユニット番号を指定します。
指定は1～3で設定してください。

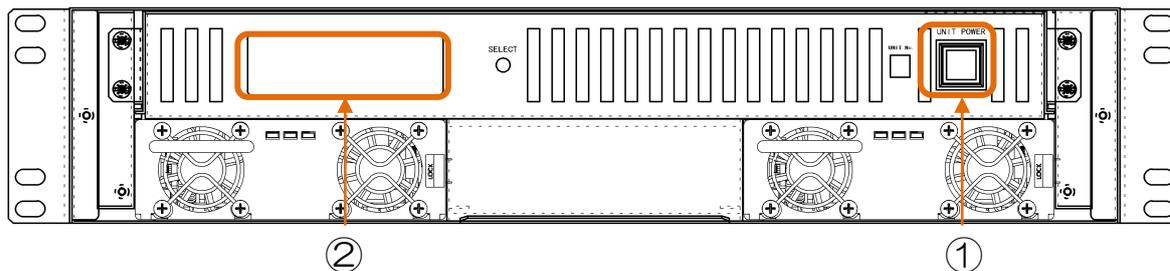
<リア>



- ① Stream LAN
Stream 取得用のLANインターフェイスコネクタです。
- ② 内部通信用LAN
内部通信用のLANインターフェイスコネクタです。OUT/CNTユニットに接続します。
- ③ リファレンス信号
リファレンス信号をINに入力します。OUTからは入力されたリファレンス信号が出力されます。
- ④ リファレンス終端スイッチ
リファレンス信号を終端にする場合に、スイッチをONにします。
- ⑤ 出力コネクタ
OUT/CNTユニットに接続します。

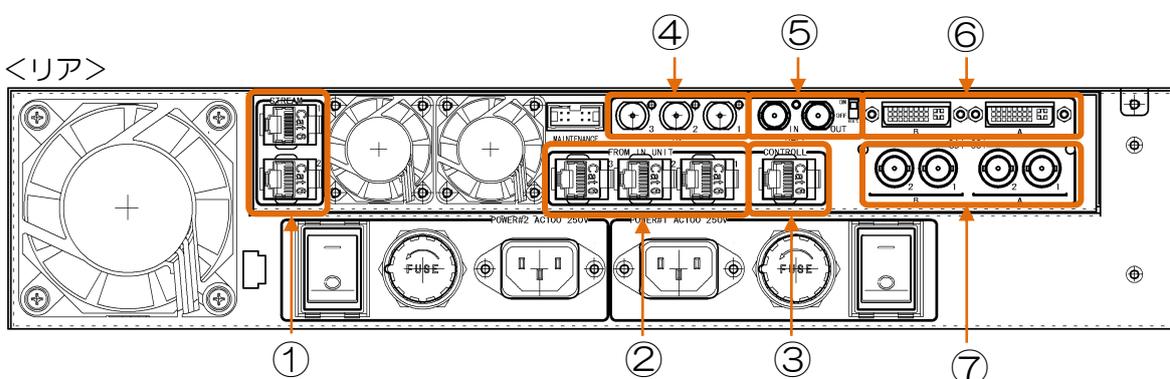
3 - 2 OUTPUT ユニット

<フロント>



- ① ユニット電源 SW
各ユニットの電源スイッチです。
ユニットに電源が入ると緑点灯します。
- ② ユニット VFD
VFD にて各ユニットの情報表示を行います。

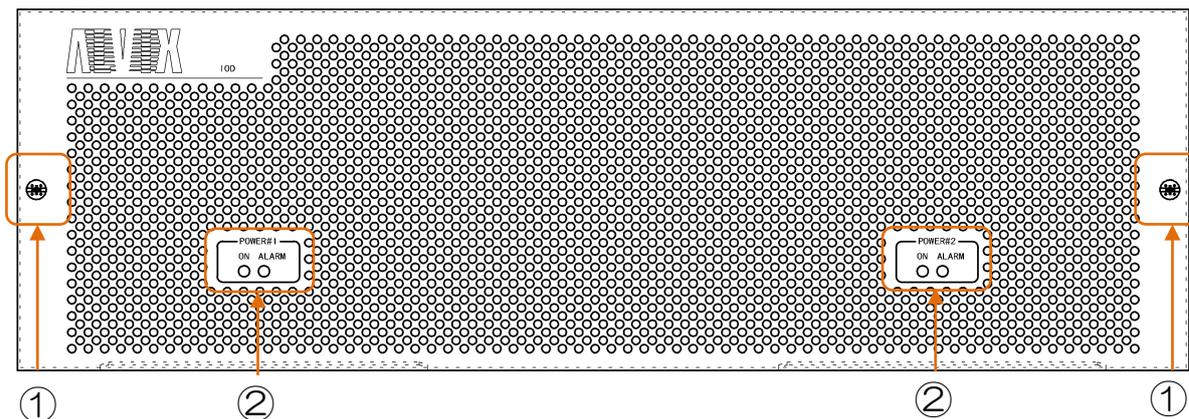
<リア>



- ① Stream LAN
Stream 取得用の LAN インターフェイスコネクタです。
- ② 内部通信用 LAN
内部通信用の LAN インターフェイスコネクタです。INPUT ユニットと接続します。
- ③ 制御用 LAN
外部制御用 LAN インターフェイスコネクタです。
- ④ 入力コネクタ
各 INPUT ユニットからの出力を入力します。
- ⑤ リファレンス信号
IN：外部からリファレンス信号を入力します。
OUT：リファレンス信号を出力します。INPUT ユニットと接続します。
スイッチ：リファレンス信号を外部リファレンス信号か内部リファレンス信号に切り替えを行います。
- ⑥ DVI 出力コネクタ
マルチモニタの画面を出力します。
- ⑦ SDI 出力コネクタ
マルチモニタの画面を出力します。

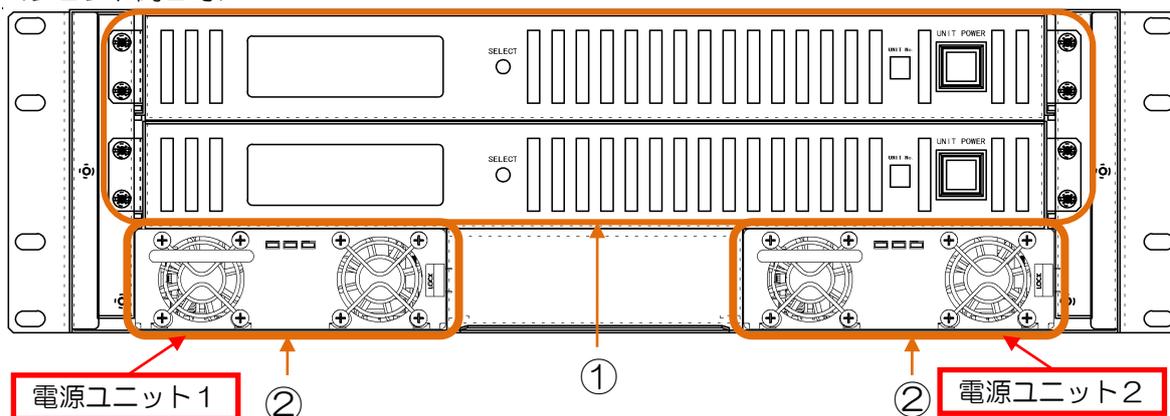
3-3 IOD-3U

<フロント>



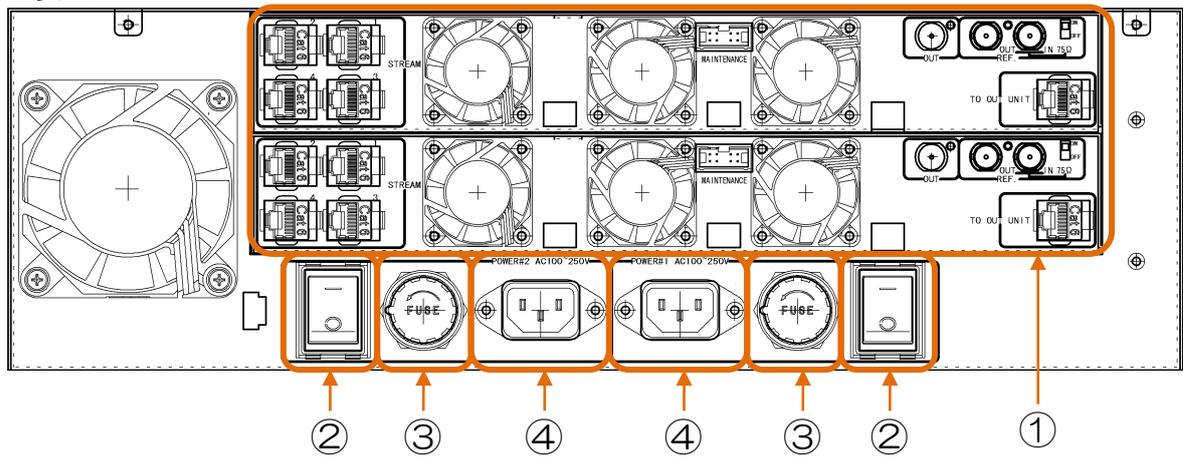
- ① フロント着脱用ネジ
フロントを開く際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。
- ② 電源ユニット状態
電源ユニットの状態を示すLEDです。
ON : 電源ユニットの出力電圧が正常の場合に緑点灯します。
ALARM : 電源ユニットの出力電圧が異常の場合に赤点灯します。

<フロント開口時>



- ① INPUT または OUT/CNT ユニット
INPUT ユニットまたは、OUT/CNT ユニートを 2 台実装できます。
- ② 電源ユニット
電源ユニットを 2 台実装できます。
電源ユニットは一方の電源を投入した状態で、もう一方の電源ユニットを交換することが可能です。

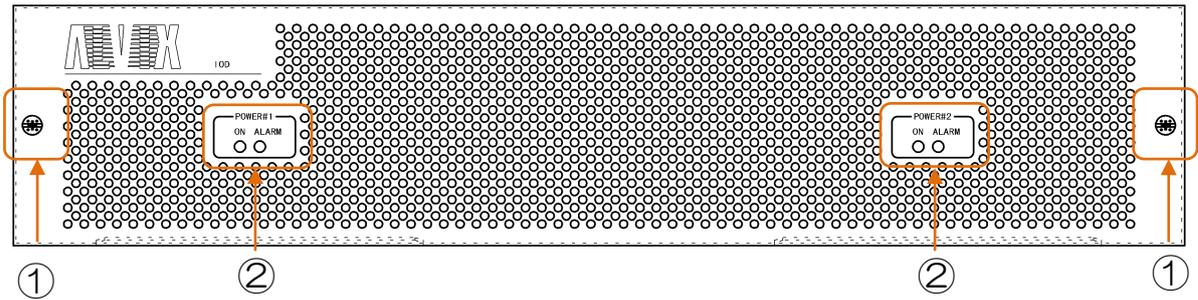
<リア>



- ① INPUT または OUT/CNT ユニット
INPUT ユニットまたは、OUT/CNT ユニットの 2 台実装できます。
- ② 電源ユニット SW
電源ユニットの電源をON/OFFします。
- ③ ヒューズホルダ
ヒューズ交換時以外、触らないでください。
- ④ AC入力
本機の電源入力（3Pインレット）です。
電源コードは電源ユニット 1， 2とも接続して下さい。

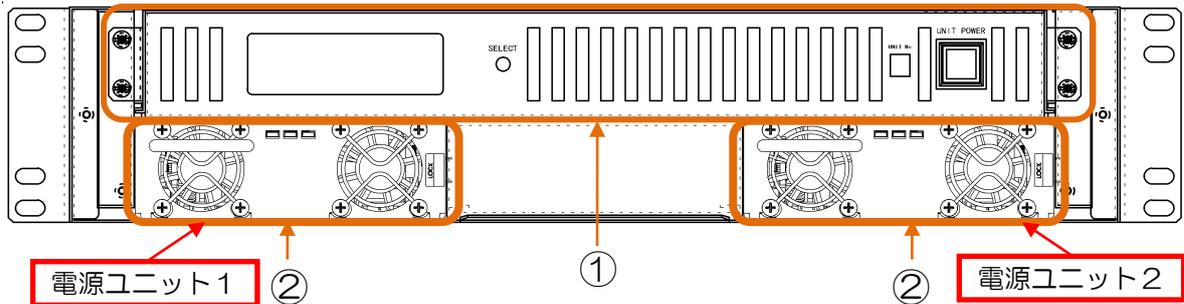
3 - 4 IOD-2U

<フロント>



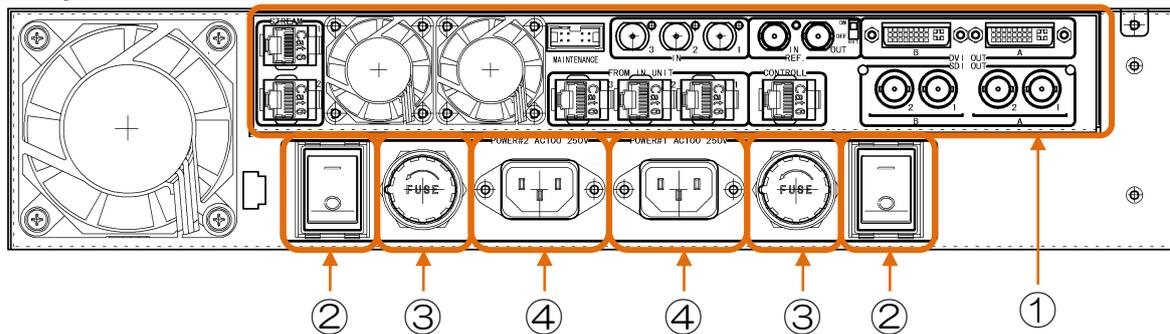
- ③ フロント着脱用ネジ
フロントを開く際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。
- ④ 電源ユニット状態
電源ユニットの状態を示すLEDです。
ON : 電源ユニットの出力電圧が正常の場合に緑点灯します。
ALARM : 電源ユニットの出力電圧が異常の場合に赤点灯します。

<フロント開口時>



- ① INPUT または OUT/CNT ユニット
INPUT ユニットまたは、OUT/CNT ユニートを 2 台実装できます。
- ② 電源ユニット
電源ユニットを 2 台実装できます。
電源ユニットは一方の電源を投入した状態で、もう一方の電源ユニットを交換することが可能です。

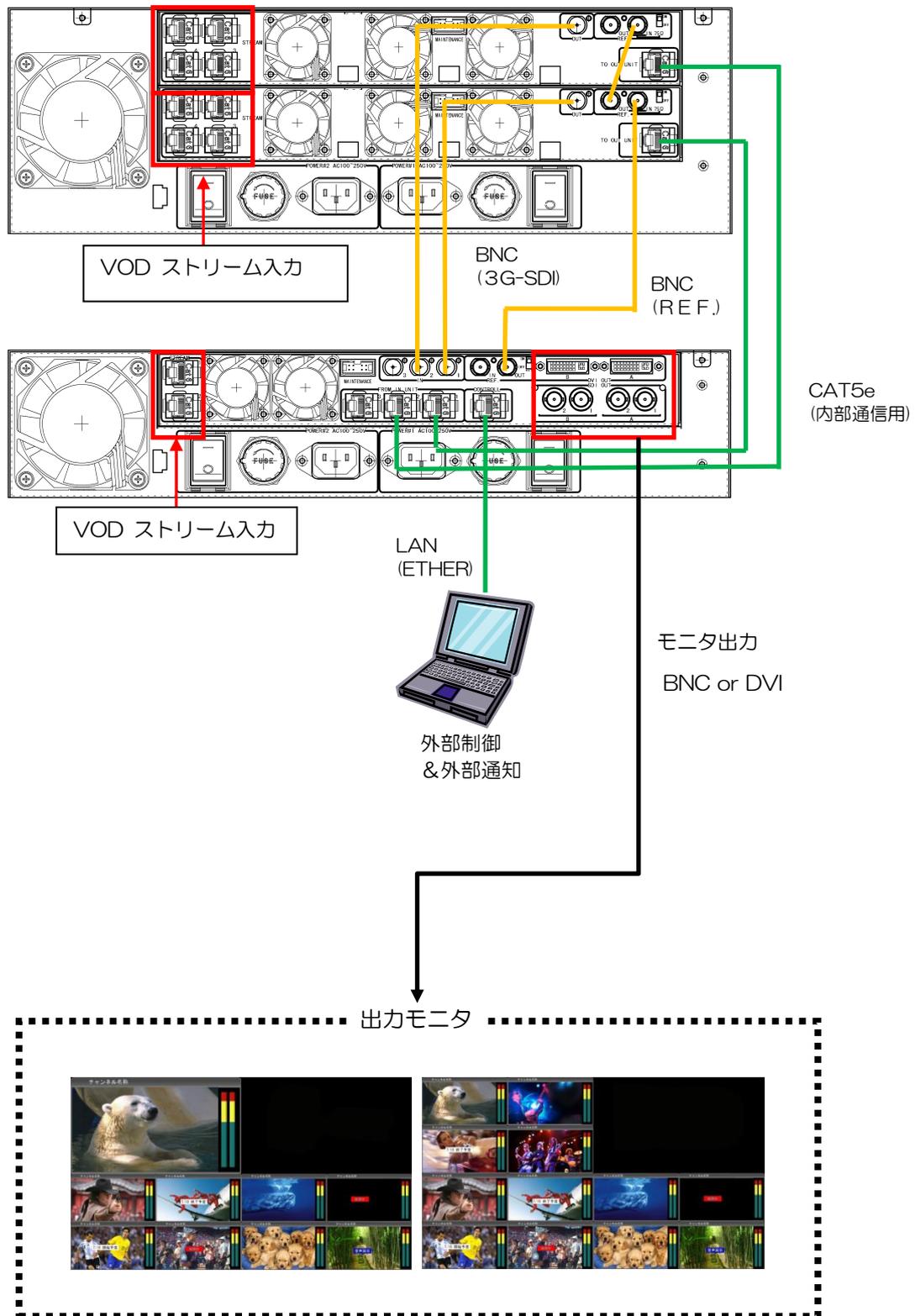
<リア>



- ① INPUT または OUT/CNT ユニット
INPUT ユニットまたは、OUT/CNT ユニートを 2 台実装できます。
- ② 電源ユニット SW
電源ユニットの電源をON/OFFします。
- ③ ヒューズホルダ
ヒューズ交換時以外、触らないでください。
- ④ AC入力
本機の電源入力（3Pインレット）です。
電源コードは電源ユニット1，2とも接続して下さい。

4. 接続方法

INPUT ユニット 2 台と OUT/CNT ユニットの接続方法の例を以下に示します。



5. 設定について

5 - 1 子画面設定

- ◇設定ソフトを使用し、子画面の表示設定やレイアウトを変更することができます。
※ 設定ソフトの操作方法については、別紙設定ソフト取扱説明書をご覧ください。

5 - 1 - 1 表示 ON/OFF

子画面の表示/非表示が設定できます。



5 - 1 - 2 サイズ

子画面のサイズを8パターンより選択できます。

- ・ 1920×1080
- ・ 960×540
- ・ 640×360
- ・ 480×270
- ・ 384×216
- ・ 320×180
- ・ 274×154
- ・ 240×135

サイズ設定



5 - 1 - 3 表示位置

表示位置 (X,Y) を1ドット単位で設定できます。



5 - 1 - 4 枠色・ブリンク

枠色を RGB 値の各色 0, 85, 170, 255 の 4 段階により設定できます。
 枠の太さを 4 ドット単位で 16 段階 (0~60 ドット) 設定できます。
 ブリンク設定により設定した枠色で点滅できます。

枠表示イメージ (枠色 RGB 値 [255,0,0] 設定)



- 枠太さ設定イメージ
 (子画面サイズ: 480x270、枠色 RGB 値 [255,0,0] 設定)

枠モード	表示
4 ドット	
12 ドット	
20 ドット	

5 - 1 - 5 BASE 色・ブリンク

BASE 色(音声バーの背景色)を RGB 値の各色 0, 85, 170, 255 の 4 段階により設定
できます。

ブリンク設定により設定した BASE 色で点滅できます。

BASE 表示イメージ (BASE 色 RGB 値[0,85,255]設定)



5-2 コメントウィンドウ設定

- ・ 出カコメントウィンドウと入カコメントウィンドウ機能を持ちます。
- ・ 出カコメントウィンドウはレイアウト毎（レイアウト1～8）に160個のコメントウィンドウが表示できます。
- ・ 入カコメントウィンドウは子画面（No.1～No.70）に最大15個のコメントウィンドウが表示できます。

各部名称

以下にコメントウィンドウの各部名称を記載します。



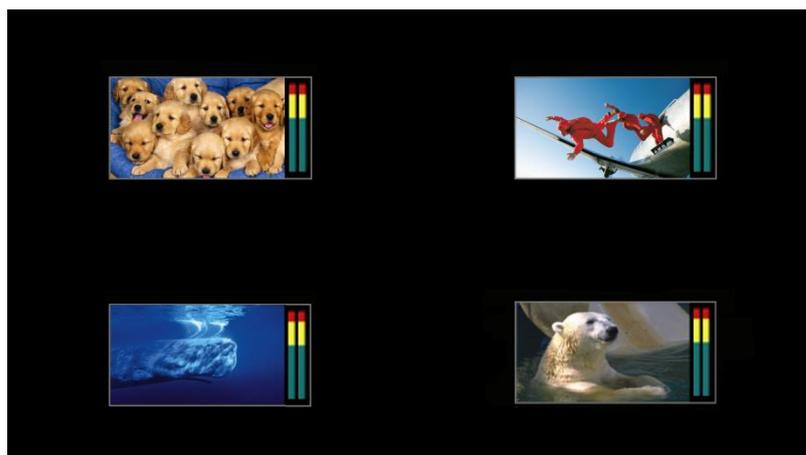
- ① 文字
- ② マット
- ③ 枠

使用例

コメントウィンドウの使用例を記載します。

下図にコメントウィンドウを使用した場合のイメージを記載します。

下図では4つのコメントウィンドウを表示しており、最大160個まで表示出来ます。



コメントウィンドウ無しのレイアウトイメージ

コメントウィンドウ追加



コメントウィンドウ設定時のレイアウトイメージ

① 通常使用例



コメントウィンドウは任意の文字を画面上自由に任意の大きさに配置出来ます。

② タリーの様に表示出来ます。



コメントウィンドウは背景色が設定でき、文字を空白のみにすることでタリーの様に表示出来ます。

③ 枠の様に表示出来ます。



コメントウィンドウは透過率が設定でき、枠サイズも設定できるため、枠の様に表示出来ます。

設定：マット色：不問、マット透過：100%、枠色：赤、枠透過：0%

- ④ チャンネル名称の様に表示出来ます。



コメントウィンドウを子画面の上部等に配置し、チャンネル名称の様に表示出来ます。テキストは最大1000個のパターンを登録でき、コメントウィンドウ毎にパターンを選択できます。

コメントウィンドウの文字は選択しているパターンを変更するだけで変更出来ます。

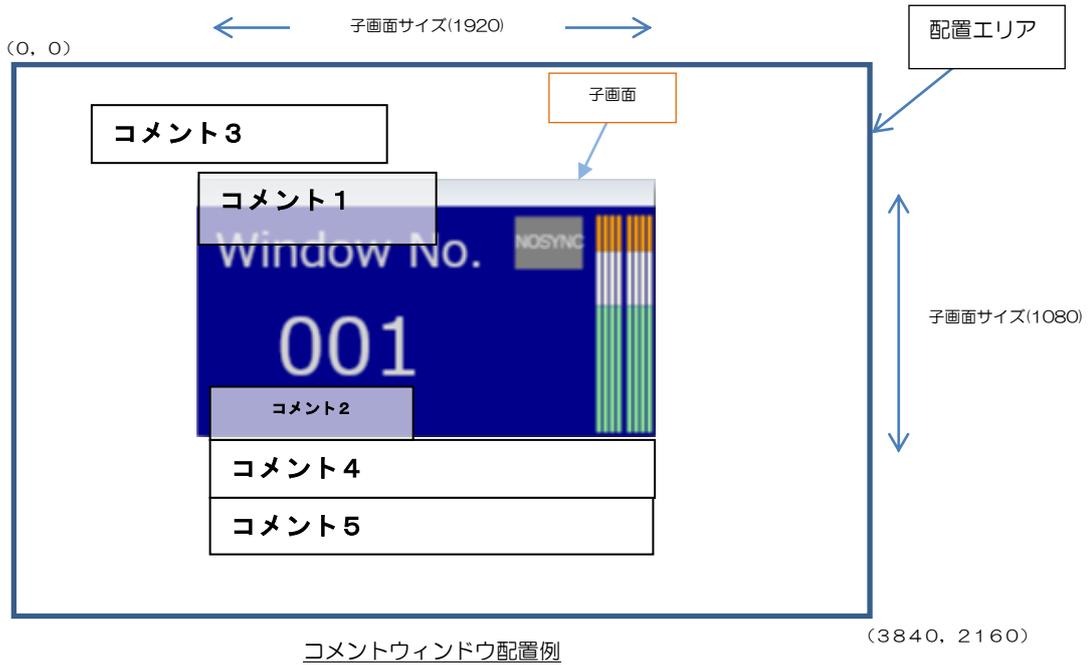


パターン変更



入力コメントウィンドウは、下図の様に、子画面に関連して配置し表示します。

子画面のサイズを1920×1080として、入力コメントウィンドウを配置します。
配置エリアは、H: 0000 ~ 3840 / V:0000 ~ 2160
例)「コメント1」の位置=H:960,V:540 サイズ=H:50%(960),V:25%(270)

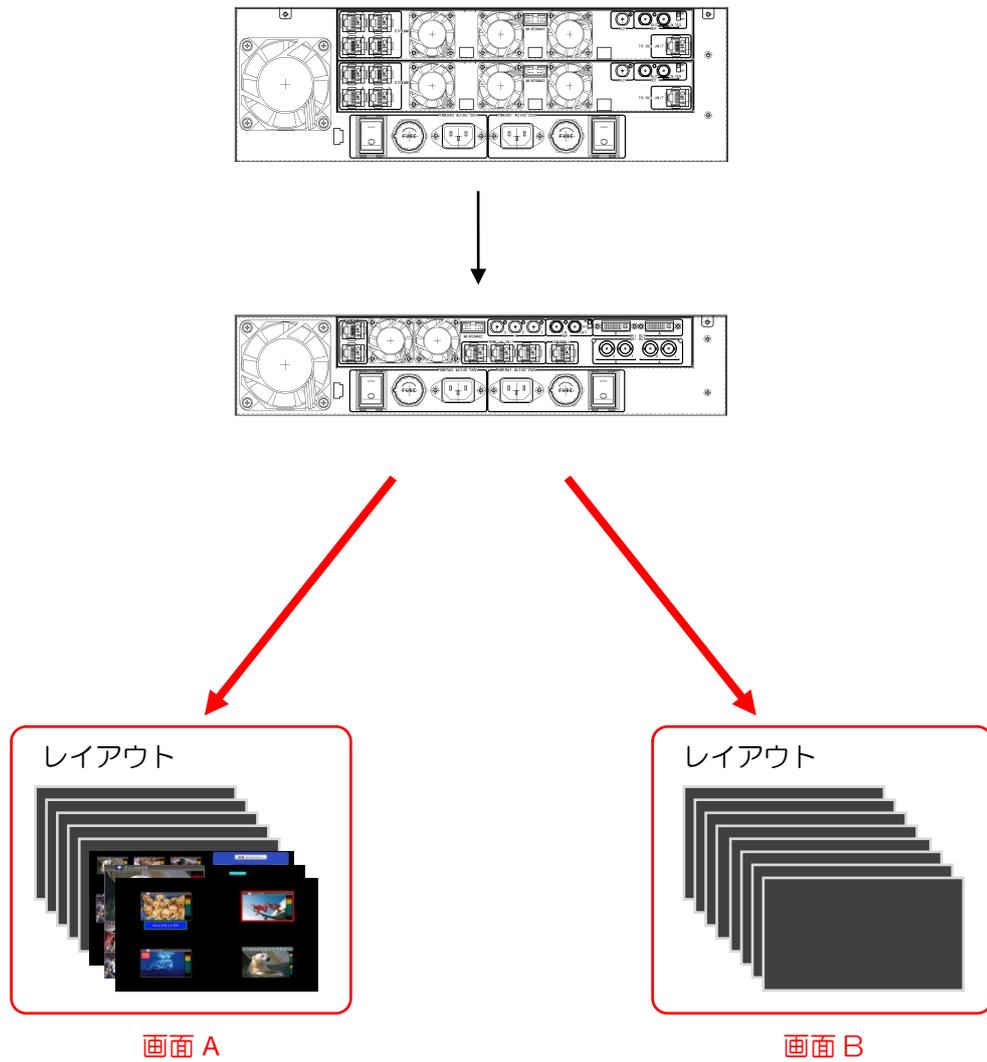


入力コメントウィンドウは子画面のサイズに合わせて、自動でリサイズします。
子画面のサイズが小さくなるにつれ表示できなくなる場合があります。



5-3 レイアウト設定

出力毎に 8 個のレイアウトが設定出来ます。



6. IODシステムリモート操作方法

IODシステムのINPUTユニット、OUT/CNTユニットにリモートで接続し、操作することが出来ます。

操作方法を以下に示します。

1. TeamViewerの起動

C:\¥Program Files (x86)\¥TeamViewer¥TeamViewer.exeを実行して下さい。

※プログラム保存先は、PC環境によって違う場合がありますので、適宜読み替えて下さい。

2. 起動画面



3. 接続方法

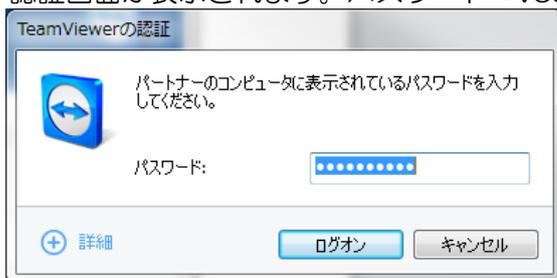
起動画面の①「パートナーID」に接続したいIPアドレスを入力します。

②パートナーに接続ボタンをクリックします。

※リモートで操作可能なのは、各ユニットのホストマシンのみになります。

4. 認証

認証画面が表示されます。パスワード「vod_alvix5035」と入力します。



5. リモート画面が表示できたら接続完了です。

6. 切断

リモート操作が終わりましたら、リモート画面ウィンドウを閉じて下さい。

リモート接続が終了します。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038